

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	農山漁村文化景観小委員会	主 査 名：神吉紀世子 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：三橋伸夫
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村の「文化的景観」保全に取り組む先行事例の比較研究 ・2006～2009 年度農山漁村景観保存小委員会の成果を発展させ、文化的景観に関する書籍を出版する ・各地の事例地においてワークショップ等を開催し技術的支援を行う 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：神吉紀世子 (京都大学) 幹事：小浦久子 (大阪大学)、宮川智子 (和歌山大学) 委員：工藤和美 (明石高専)、平田隆行 (和歌山大学)、福島綾子 (九州大学)、中尾史郎 (京都府立大学)、熊野稔 (徳山高専)、植田暁 (NPO 法人景観ネットワーク)、川口友子 (農村開発企画委員会)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/ http://archi.sys.wakayama-u.ac.jp/~ruralscape/modules/d3blog/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2011 年 8 月下旬の刊行にむけ書籍の執筆・編集を進め、学会内手続きも開始した。 2. 各執筆分担部分について検討を進めるため当初予定より小委員会の回数を増やした。 3. 予定していた事例地ワークショップの試験的開催を和歌山県田辺市近露地区で開催した。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 執筆・編集作業とその他の作業を並行して進めることは容易ではないことが判明。事例地ワークショップの今後の開催の検討については 2011 年度の後半以降とするように、目標を変更することとした。 2. HP の活用方法が現在も検討中となっている。出版が完了した後に改めて検討課題とし、国内・国外への成果の発信の在り方を考えたい。